

団体名	赤穂商工会議所青年部	活動名	でえ塩ん梅え?欲” すい?
-----	------------	-----	---------------

1 活動の実施内容

① 実施場所（地域） 赤穂市	② 実施期間 自 令和5年4月18日 至 令和6年1月31日
③ 実施体制 ・団体構成員 13 名 ・一般参加者 名 ・ボランティア 名 ・ 名 ・ 名 計 13 名	
④ 活動実績（実行委員会や準備作業の活動実施等の主な実施日、内容をご記入ください。） (令和5年) 4月18日 実行委員会発足。第1回委員会開催。事業計画作成。 5月20日 審査会プレゼンテーション 6月 2日 (株)日本海水 様より、あら塩25kgを協賛いただく。 同日、漬け込み依頼先である石神邑（和歌山県田辺市）へ納品 6月 8日 第2回委員会開催。製品の頒布場所等について協議。 7月18日 第3回委員会開催。チラシ・ラベルデザイン等協議。 11月27日 石神邑より梅干し引き取り。 12月10日 チラシ・ラベル納品。 U-1 グランプリ（梅干し活用レシピコンテスト）公募開始。 12月14日 赤穂義士祭忠臣蔵交流物産市 にて梅干し出品。 単価500円で60個を販売した。 (令和6年) 1月10日 U-1 グランプリ 公募終了 1月15日 第4回委員会開催。U-1 グランプリに応募頂いたレシピの審査を行い、 グランプリを「うめぶたしゃぶレシピ」に決定した。	

2 活動実施の成果と今後の課題

① 活動実施の成果

昨今の健康志向が高まる時代背景の中で、塩分濃度の高い食品は商業的に敬遠されがちです。赤穂の特産品である塩を最大限活かした食品を作りたいという思いから、塩分濃度20%という梅干し作りの企画がスタートしました。

令和4年度にテストマーケティングとしての意味合いも含めて製造したところ、ある一定の消費者層に絶大なる支持とニーズがあることが判明しました。

令和5年度は、より洗練されたパッケージと、その価値を伝えるためのツールとしてチラシと一新したデザインのラベルを、補助金を活用して製作しました。より多くの人に梅干しを活用してほしいとの考えから、梅干しを活用したレシピのコンテストであるU-1グランプリも開催し、10件の応募の中から「うめぶたしゃぶレシピ」をグランプリに決定しました。

本事業の成果として、添加物を加えず純粋に塩の力のみで漬け込みされた梅干しは、梅本来のうま味を引き出し、非常に美味であるという認識を得ました。これは、歴史と趣ある赤穂の製塩事業者が生産する塩が優秀であることを証明する一助になると考えており、赤穂市民に提供できたことは非常に意味深いものがあったと思います。

② 今後の課題

赤穂市の補助金を活用したため、チラシ・ラベル製作は赤穂市内の事業所に依頼をしたが、他の手段と比べた際にコスト高が否めず、事業化を考えた際にネックとなります。

例えば赤穂市の新たなお土産品として流通させるためにはある程度の利益がなければ持続性を確保することが難しくなります。

また、実施スケジュールがタイトになり、グランプリ公募の告知や拡散が十分に行えなかったことを課題として捉えています。

3 実施活動の写真

	<p>写真のコメント</p> <p>実際に作成した梅干しのパックです。</p>
	<p>写真のコメント</p> <p>赤穂義士祭忠臣蔵交流物産市においては、来場客に対して梅干しの販売を行い、また製作したチラシを用いてグランプリのPRを行いました。</p>
	<p>写真のコメント</p> <p>U-1 グランプリに輝いた「うめぶたしゃぶ」です。</p>

4 参考資料を自由に添付してください。

※ 用紙が不足する場合は、欄の大きさを変えるか用紙を追加してください。
 (ただし、別紙4全体で、用紙A4サイズで5枚以内としてください。)